

単元名 ふたりで かんがえよう

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
 (2) 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。
 (3) 二人で話し合い、協力してクイズを作ろうとする。

標準的な展開例

01010306_001

【教材名】これは、なんでしょう (下 P.102～P.105)

【準備等】話すポイント・聞くポイント(掲示用)、指導書付録CD

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 学習の見通しをもつ。 ★二人で問題を考えて、クイズ大会をしよう。 ○教師の出したクイズで遊ぶ。</p> <p>○クイズ大会を開くことを知る。 ○教材文を読んで問題の作り方を理解し、クラスでクイズの問題作りをする。</p> <p>2 ペアでクイズの問題を考える。 ○クイズの答えになるものを出し合う。 ・学用品 ・乗り物 ・動物 等 ○問題の答えになるものの特徴をノートに書く。</p> <p>3 問題の出し方を話し合う。 ○CDを聞き、問題の出し方を確かめ、話し合いの仕方を学ぶ。 ○書き出したヒントをどのような順番で言うのかを決め、練習する。</p> <p>4 クイズ大会をする。 ○クイズ大会のルールを確認する。 ・聞く態度 ・質問の仕方 ・ヒントの出し方 ・質問の数やヒントの数 ○クイズ大会をする。</p> <p>○クイズ大会の感想を伝え合い、学習のまとめをする。</p>	<p>・あらかじめ、身の回りの持ち物や人物、動物などで数種類のクイズの問題を作っておく。</p> <p>・答えの出にくい問題も作っておき、児童から質問を出させる。</p> <p>・色や形、働き、様子などをヒントにするとよいことに気付かせる。 ・クラスで作った問題を当てはめて、出題の練習をさせるとよい。 【評】問題の作り方を学習する活動を通して、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・特徴を三つ程度出させ、ヒントにするよう助言する。 【評】クイズの問題を作る活動を通して、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・はっきりと大きな声で、聞く人の方を見て発表できるように練習させる。 ・話すときのポイントを掲示しておく。 ・早くできたペアは、二問目、三問目を作らせる。 【評】クイズ作りの活動を通して、二人で話し合い、協力してクイズを作ろうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・聞くときのポイントを提示し、話すポイントとともに掲示する。</p> <p>・グループでできるように、教室をいくつかのコーナーに分けてもよい。 【評】クイズ大会の活動を通して、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐ「思考・判断・表現」を評価する。 ・教科書(P.104)の「たいせつ」を確認し、まとめる。 ・継続学習として、朝の会などでクイズを取り上げていくとよい。</p>

【 備 考 】